

みず・まち・自然 エンジョイ! 米子

広
報

よなご

1

2022 January
No.202

◎特集

バスを賢く・お得に使う

米子市長 伊木 隆司

明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、新年を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、「東京2020オリンピック・パラリンピック」に米子市出身の選手5名が出場されるという快挙がありました。鳥取県勢初の金メダルを獲得された入江選手をはじめ、富田選手、三上選手、武良選手、安野選手の活躍に米子市が沸き、

多くの感動をいただきました。

また、昨年は、市道安倍三柳線の開通、米子駅南北自由通路の工事着工、市役所のこども総本部やスマート窓口の新設、だんだんバス新ルートの実証運行の開始など、「住んで楽しいまち よなご」の実現に向けたさまざまな取り組みに尽力してまいりました。

一方で、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活に大きな影響を及ぼしました。本市では、一日も早く平穏な市民生活と地域の経済をはじめとするさまざまな活動を取

新年のごあいさつ

米子市議会議員 岩崎 康朗

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃より議会の運営並びに活動に對しまして、ご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、1年延期となっていた「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開催され、米子市出身の選手達の出場とその活躍、

さらには金メダル獲得という明るいニュースがあった一方で、一昨年より続いている新型コロナウイルスが全国で感染者の急増や変異株の発生、クラスター感染など今までに類のない爆発的な感染が起こり、市民生活にも大きな影響がございました。

このようなときにあつて、昨年の首相交代や衆議院解散による総選挙の実施など、政局が目まぐるしく変化する中、地方自治体は、少子高齢化や多種多様化する住民ニーズへの対応、地域

り戻すべく、ワクチン接種を最優先事項として取り組みながら、コロナ禍にあつても感染対策を講じながらできることを進めていくという方針のもと、「よなごプレミアム付商品券」、「よなごを元気に！飲食店応援キャンペーン」や「米子に泊まろう！宿泊応援キャンペーン」など社会情勢に応じた施策をスピード感を持って実施してまいりました。

令和4年も新型コロナウイルス感染症によるさまざまな影響が残るものと予想されますが、コロナ禍では密の少

ない地方都市の暮らしが見直されている側面もあります。秀峰大山のふもと、日本海と中海に囲まれた自然豊かな米子のまちは可能性の宝庫です。

その恵まれた環境を存分に活かして、「住んで楽しいまち よなご」の実現に向けて挑戦してまいりますので、引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、今年一年の皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

経済の活性化などの諸課題に直面し、さらには、長引くコロナ禍において地方自治の真価が今まさに問われております。そのような厳しい状況の中、市民の皆さまと協働しながら、地域におけるさまざまな課題に対応し、特色を生かしたまちづくりを進める必要があると認識しているところでございます。

市議会においては、現在、平成26年に制定した「米子市議会基本条例」の検証を行っており、さらなる市民福祉の向上と公正で民主的な市政の発展に

寄与するため、議会に関する基本的な事項について熱心に議論しているところでございます。今後も、市民の皆さまの代表機関であることを自覚し、わかりやすく開かれた議会を目指して、公平性と透明性のある議会運営に努めてまいります。

結びに、市民の皆さまにとりまして、本年がすばらしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

東京 2020 オリンピック・パラリンピックで米子出身選手が大活躍

1964年大会以来、57年ぶりの東京開催となったオリンピック・パラリンピック。過去最多となる5名の米子出身選手が出場し、その活躍は米子市を歓喜の渦に包み込みました。中でも、女子ボクシングフェザー級の入江聖奈選手は鳥取県勢史上初となる金メダルを獲得。米子市市民栄光賞を授与されました。(7～9月)



米子市版「スマート窓口」始まる

引越しや出産などのライフイベントの際の手続きの手間を減らすため、スマート窓口が設置されました。タブレット端末やQRコードを活用し、各窓口で記入していた情報をスマート窓口で一括入力できるようになりました。(10月)

美保地区の義務教育学校 設置方針固まる

美保地区の小学校と中学校を廃止し、9年制の義務教育学校を新設する方針を決めました。多様な人間関係の中で切磋琢磨したり、協働的に学べたりすることが期待されます。(10月)

淀江傘誕生200周年記念事業を開催

淀江傘が伝承されて200年の節目を迎え、傘の企画展示や製作実演、講演会などの開催を通じて淀江傘の魅力を広く発信し、技術の継承、地域の振興を行いました。(10月)



福祉と教育を一体に

「こども総本部」を新たに設置

子育てをより効果的に支援するための新たな組織「こども総本部」が設置されました。これまで点在していた子育て支援に関する部署がふれあいの里(錦町)に集まり、より一体的に子育て支援に取り組んでいます。(12月)



▲ふれあいの里

令和3年 市政主要ニュース

ワクチン接種・経済対策など新型コロナウイルス感染対策を推進

クラスターの発生やデルタ株の出現など目まぐるしく変化する情勢の中、希望者に一刻でも早くワクチンが届くよう、県・医療機関と連携し接種を進めました。また、感染対策を講じたうえで飲食店や宿泊施設などを対象とした経済対策を実施しました。(通年)

市道安倍三柳線(1工区)、和崎かけはし通り開通

加茂中学校の西側を通る市道安倍三柳線(1工区)と、和田町と崎津を結ぶ和崎かけはし通りが開通しました。2区間ともJR境線の^{こせんきょう}跨線橋となっており、市内の交通渋滞の解消や、利用者の所要時間の短縮につながりました。(2月)



▲市道安倍三柳線(1工区)

▲和崎かけはし通り

米子駅南北自由通路の工事に着工

JR米子駅の南北地区を結び、交通機能の強化や回遊性を高めるため、自由通路の工事に着手しました。また駅周辺の活性化に向け、駅南広場や新駅舎の整備も同時に進められています。(3月)

旧湊山球場が史跡米子城三の丸として国史跡に追加

史跡米子城跡三の丸(旧湊山球場敷地)が国史跡に追加指定されました。今後も保存・整備を推進し、三の丸から二の丸、本丸と「米子城」を本格的に実感できる史跡公園として整備していきます。(3月)



「新商都米子」のまちづくり2021策定

米子市まちづくりビジョンと米子市都市計画マスタープランで示した米子市のまちづくりの基本的な方針と主な取り組みのうち、特にまちなかと郊外の一体的な発展に寄与する主要な事業について、2020年時点での実施状況と検討状況を取りまとめました。(3月)